

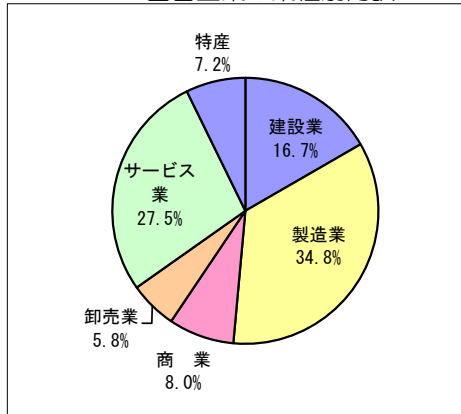
# 小野商工会議所会員事業所 景気調査（2019年第4四半期）集計結果

令和2年1月31日

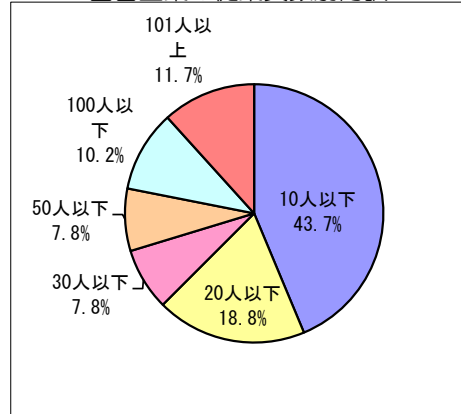
アンケート回答企業数 138社 （アンケート送付数 217社）  
 回収率 63.6%

調査対象期間 2019年10月～12月  
 比較対象期間 前年同期 2018年10月～12月  
 前 期 2019年7月～9月  
 来 期 2020年1月～3月

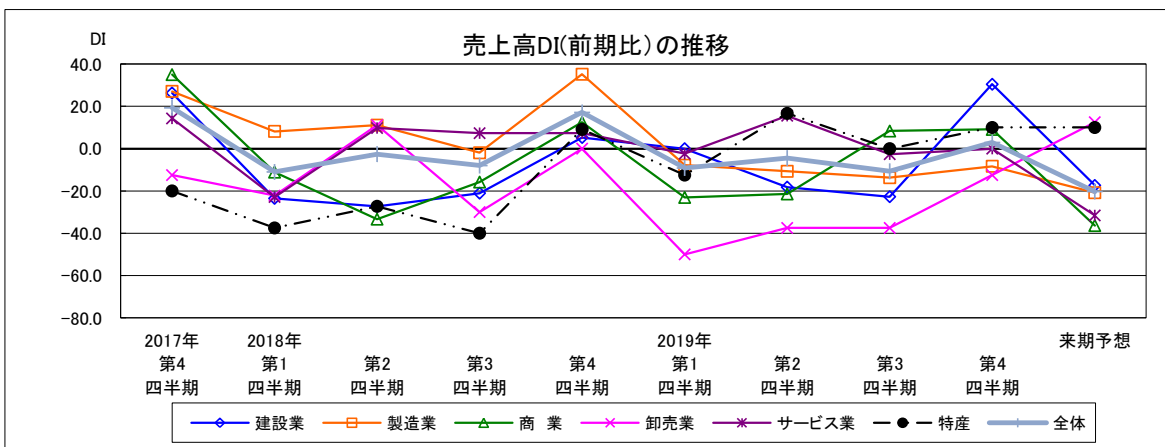
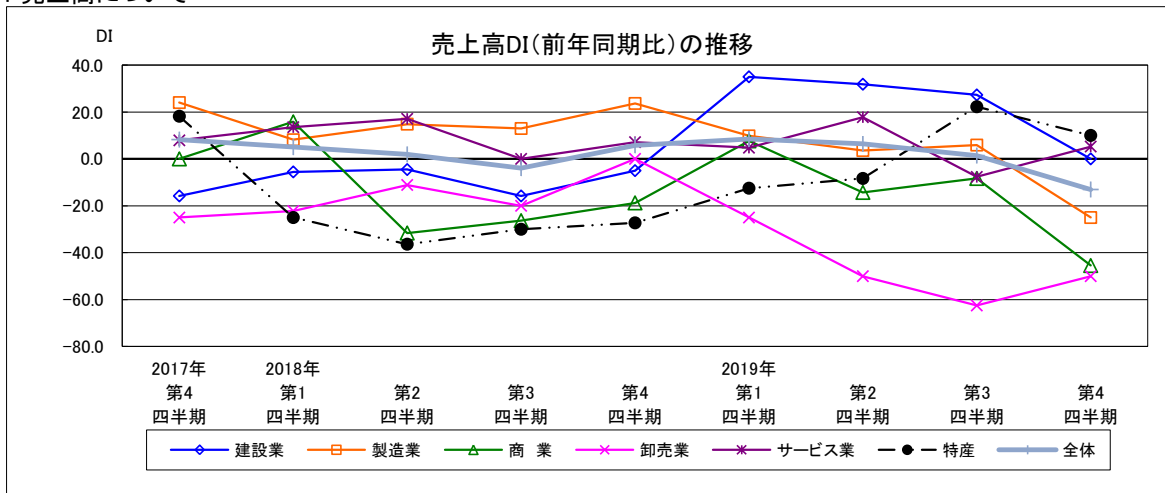
回答企業の業種別内訳



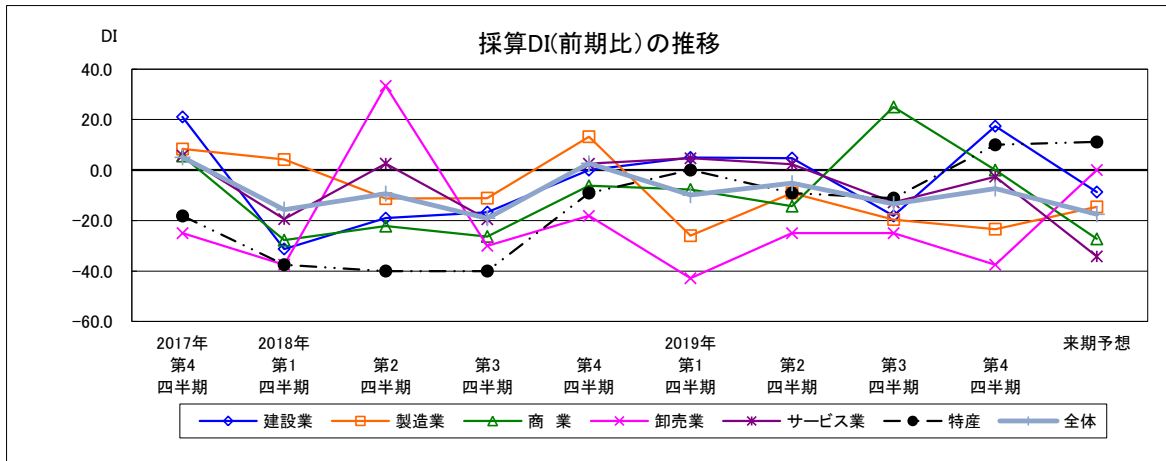
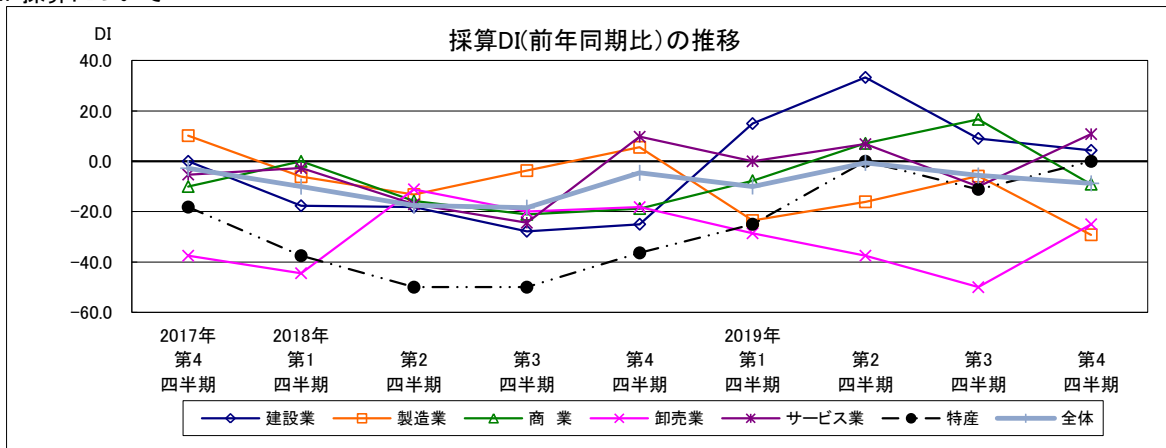
回答企業の従業員数別内訳



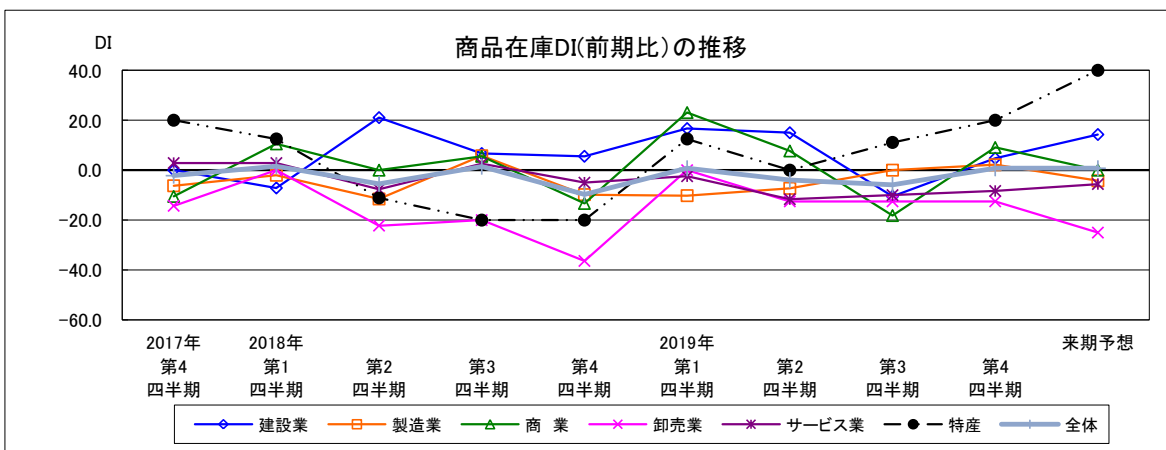
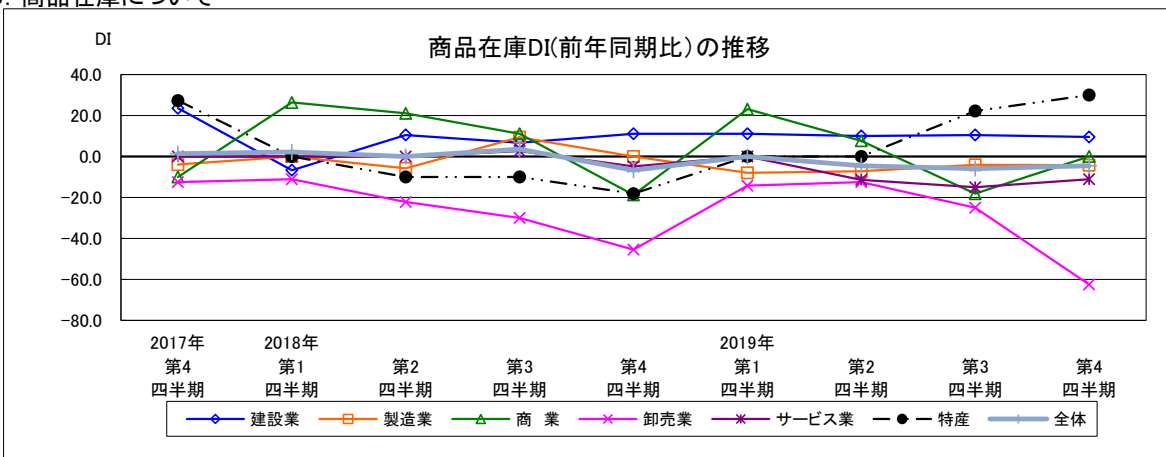
## 1. 売上高について



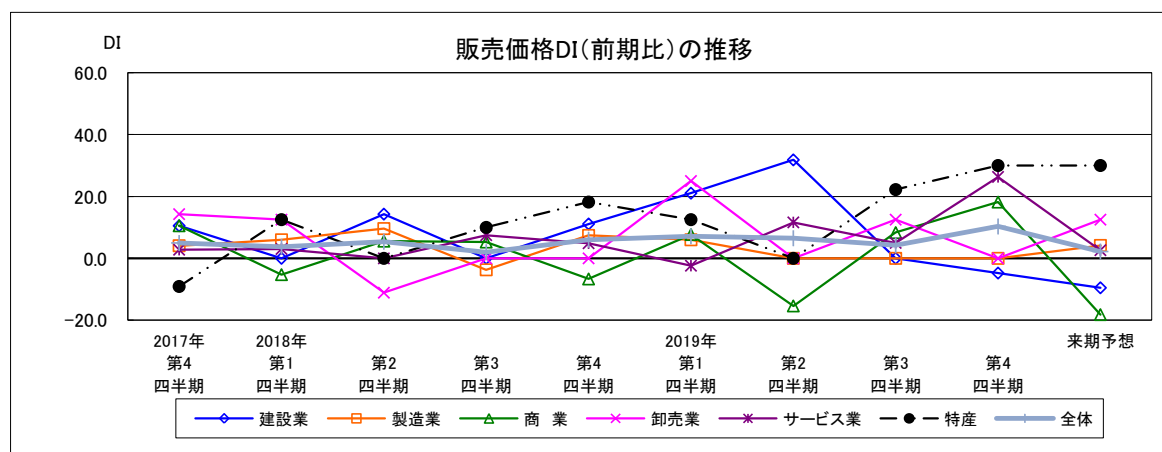
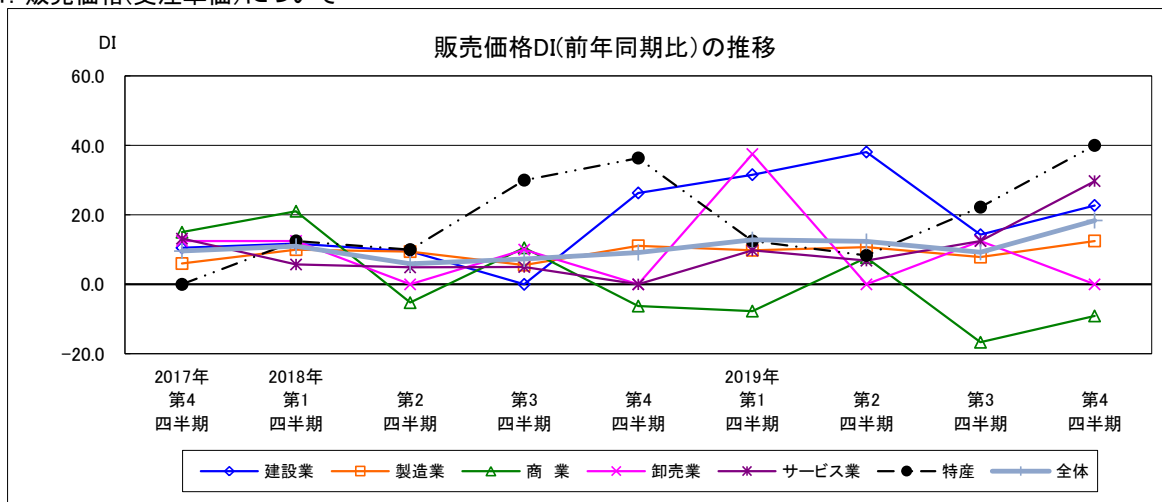
## 2. 採算について



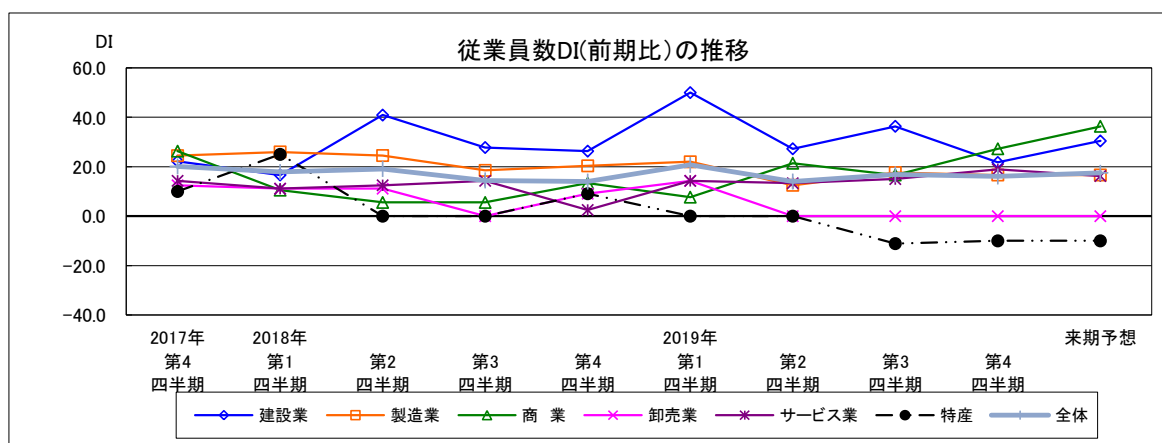
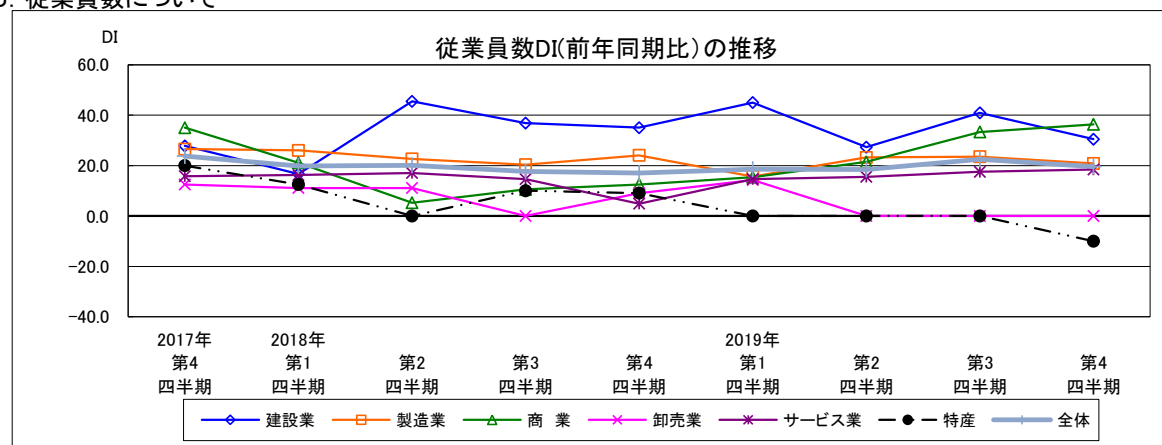
## 3. 商品在庫について



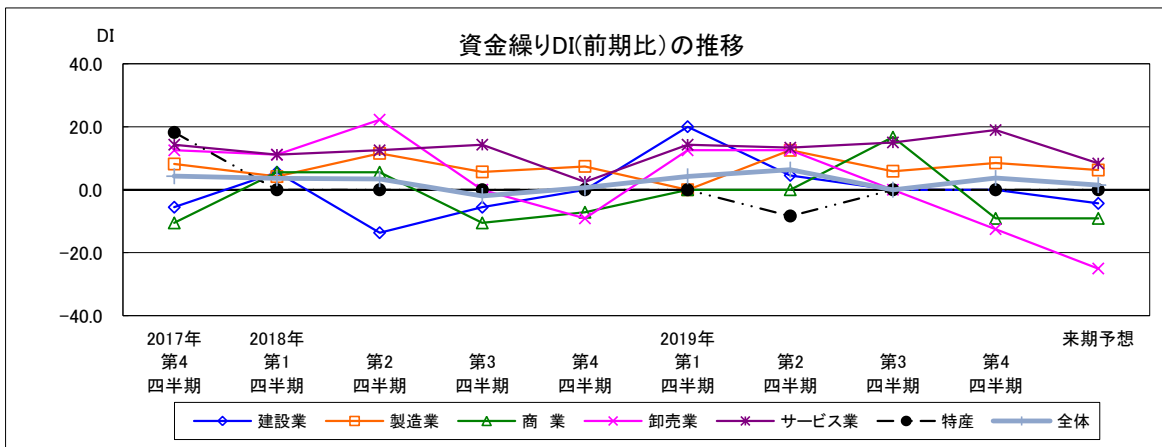
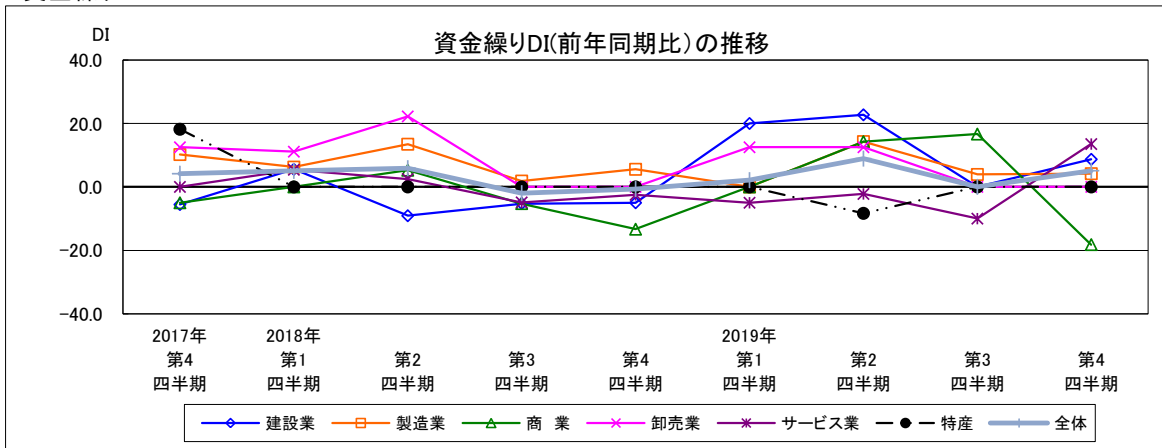
#### 4. 販売価格(受注単価)について



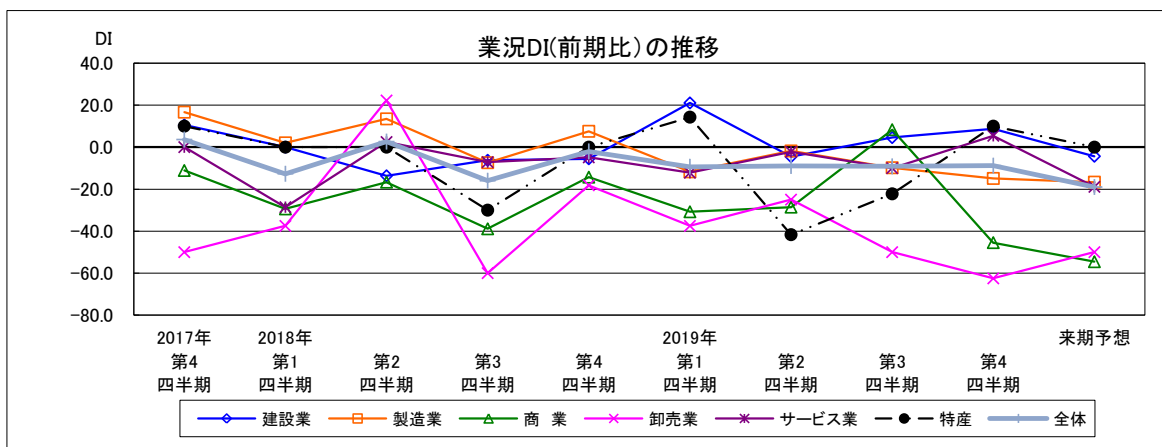
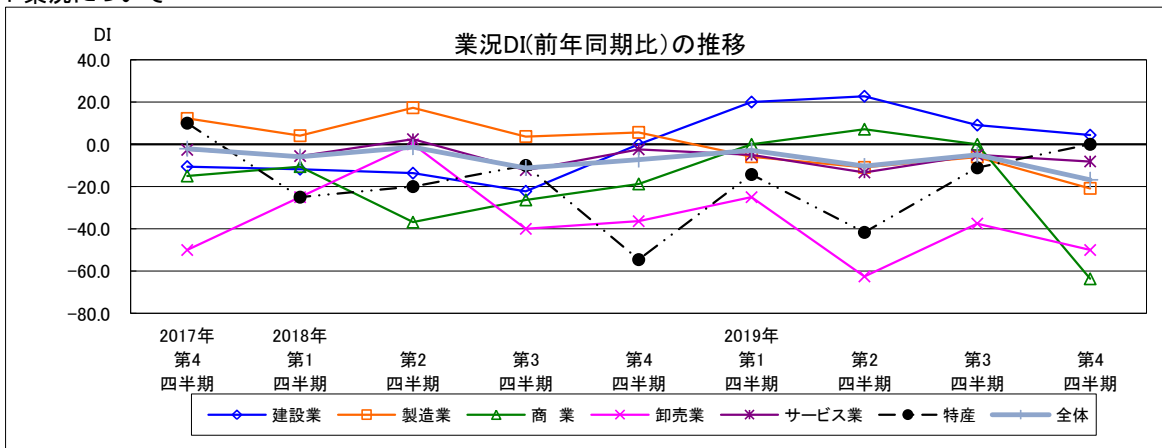
#### 5. 従業員数について



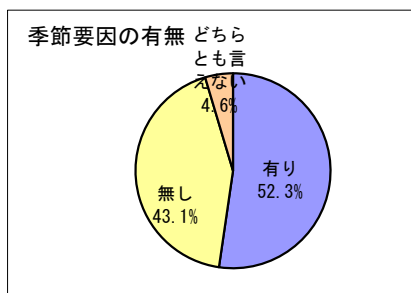
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- ・建設業界でも少しずつだが働き方改革が浸透してきているようだ。工期を厳しくいわれない分、工程の遅れが始め受注量の調整に困っている。
- ・建設業内のどの職種においても若手が不足しており、10年後、20年後の技術の継承、事業の継承が危ぶまれています。

○製造業

- ・プラスチック不使用問題。
- ・東京オリンピック関連投資の一服感。
- ・中国経済の不透明感から動向には注視しています。
- ・2020年より事業を親会社に集約。
- ・米・中の貿易戦争による輸出の落ち込みが大きく影響しており、今は様子見をしている状態です。鉄道関係は順調です。
- ・人員不足。特に現場技術者。
- ・設備の老朽化と人材不足に尽きます。
- ・親会社の納品場所の変更により物流コストが増加の見込み。
- ・重機メーカー向けの売上は好調であるが、自動車向け受注は減少傾向である。

○商業

- ・10月に消費税が増税された影響で売上はやや下がっています。10～12月で昨年比96.3%。7～9月は駆け込みで上がっていたのでその差は顕著。
- ・人員の不足。資金繰りの円滑化。
- ・全般的に受注減少傾向。消費税増税の影響もあり。

○卸売

- ・大型ホームセンター、プロショップの増加による既存販売店の売上げ減少及び、同業者間による競争の激化。労働者の人口減少で売上が減少している。
- ・事業承継をする為に必要な人材確保とシステムづくり。

○サービス

- ・ドライバー不足。
- ・ゴルフ人口の減少など。
- ・昨年は消費税の影響で一時的に売上が落ち込んだが、11～12月は高所得者層を中心に売上は堅調だった。工務店・不動産会社からの受注が一気に冷え込み、そちらからの受注がメインとなる2～4月の売上が不安である。
- ・求人を出しても面接の電話すらない。
- ・仕入価格上昇。
- ・燃料代が高騰している為採算が悪い。
- ・ランチのお客様からお客への増加傾向、又、絵や占い、スペース貸しの売上など、内容が利益率の高いものに変更しつつあります。
- ・最低賃金の上昇による問題。
- ・消費税増税による景況悪化。軽減税率、キャッシュレス還元などの迷走。愚策の極み。
- ・当初目標の生徒数60人の半分を超えたが、受験後の生徒数の確保に努めたい。

○特産

- ・いままでの問屋さんを大事にしているが…